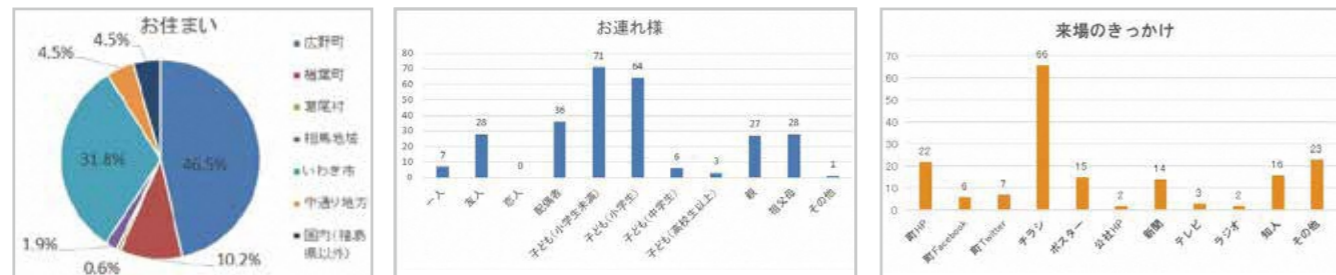


アートイベントの来場者について

○来場者数	アンケート配布数	一世帯平均	来場者数
目標			500人
9/21	300枚	3.5人 (アンケートより)	1,050人
9/22	550枚		1,925人
合計	850枚		2,975人

○来場者の属性

- ・広野町だけでなく「いわき市や楡葉町」からも多くの参加者
- ・小学生または小学生未満の児童を連れた「子育て世帯」が多数参加



アートイベントの成果

【成果①】アートと地域の親和性

- ・アートに対する地域の抵抗感が危惧されたが多くの子ども達が来場し、なかには2日連続で来場する子ども達も多数見られた。
- ・イベント参加者からは「地域の人たちと交流できるこのようなイベントが欲しかった」、「来年も是非やってほしい」、「イベントの準備を手伝いたい」等の声が多く寄せられ、地域との親和性が確認できた。

【成果②】地域文化の再認識

- ・「とんぼのめがね」等の地域文化の再認識をテーマに、体験ワークショップを実施、更に地域資源のエッセンスが凝縮されたご当地キャラクター「ひろぼー」に触れる機会を数多く盛り込むことで、地域文化の再認識につながった。

【成果③】地域担い手の巻き込み・協働

- ・時間的制約があったが可能な限り地域担い手の巻き込みを図り、協働でイベントを開催した(例えば、ふたば未来学園高等学校生徒によるアートワークショップの開催、地域担い手による画像・映像作成等)。

【成果④】参加アーティストが感動

- ・今回のイベントには多数のアーティストが参加したが、地域との一体感や子ども達の笑顔に感動し、FacebookやInstagram等でイベントの状況や感動をイベント終了後も拡散している。
- ・これらアーティストは今後も広野町の応援者となり、貴重な関係人口となる。

令和2年度も「ひろのアートキャンプ」を継続開催予定！！
更に地域の担い手を巻き込み、地元事業者と協働でイベントの実施を検討！！



お問合せ

主催：広野町(窓口：復興企画課)
〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替 35
Tel 0240-27-1251 (復興企画課) Fax 0240-27-4167
メール hukkoukikaku@town.hirono.fukushima.jp

広野町アートイベント

ひろのアートキャンプ

報告集

「ひろのアートキャンプ」開催の経緯

ニツ沼総合公園は被災前は地域コミュニティの核として賑わっていたが、震災後は利用者の大半がパークゴルフ利用者(多くが高齢者)となり、それ以外の施設の利用は極めて限定的な状況であった。そこで震災で失われた「かつての機能」を戻すのではなく、ニツ沼総合公園に「広野町らしい新たなコンテンツを導入」することとした。

ニツ沼総合公園への新たなコンテンツの導入検討に際し、2018年度の広野町国際フォーラム「芸術文化を通じた連携と地域振興」のセッションにおいて、「アーティストが地域住民の生活に根差した資源を発見し、それを活かした芸術作品を住民と協働で制作することで、地域での交流人口が拡大し、地域振興の効果が大きい。」との提言を受けたことを踏まえ、「地域文化として浸透・定着させるために、いかに地域の脈絡を読み地域課題に対応するか」を念頭に置きながら、子ども達がアートを体験することを通して多世代交流・域内域外交流を促進することを目的としたアートイベントを初めてニツ沼総合公園で開催した。

「ひろのアートキャンプ」の概要



【日時・場所】

令和元年 9月20日(金) 15:00~17:00
 >> 町内キャラバン(ひろパーク等)
 9月21日(土) 10:00~20:00
 >> ニツ沼総合公園
 9月22日(日) 10:00~17:00
 >> ニツ沼総合公園

【参加アーティスト】

RoamCouch(ロームカウチ)、本多敏行、小出菟、柳沢三千代、せんべい等

広野町振興公社主催イベント「バナナ収穫祭」や「フリーマーケット」等も同時開催

たこやきで福島を元気に!
たこやきグランプリ2019
ひろの

福島県内のたこやき屋が集結。みんなの投票でグランプリを決めよう!

フリーマーケット

いわき市を中心としたフリーマーケットブースがニツ沼総合公園に集結! たくさんの掘り出しものに出会えるかも!

バナナ収穫祭

国産バナナ「朝陽に輝く水平線がとても綺麗なみかんの丘のある町のバナナ」を味わってみよう!



ひろのアートキャンプに集ったアーティストたち



アート体験
アート作家
RoamCouch
(ロームカウチ)

風車の壁にアートペイント！ 作品の仕上げは、公園に来たみんなも参加しました。



アート体験
アニメ監督
本多敏行
(ほんだとしゆき)

ドラえもののび太の恐竜作画監督。恐竜をテーマに、本多監督と一緒にラクガキをしました！



アート体験
切り絵作家
小出菟
(こいでしゅう)

広野町が舞台の、童謡をテーマにした切り絵作品を、みんなで一緒に作って完成させました！



伝統体験
声優
柳沢三千代
(やなぎさわみちよ)

福島県塙町を舞台にしたアニメ「かっぱのすりばち」を、活弁劇スタイルで鑑賞しました。



伝統体験
紙芝居師
せんべい
(せんべい)

「黄金バット」など懐かしい紙芝居を口演。紙芝居をつくるワークショップも開催しました。



音楽体験
ちんどん屋
柳沢楽太郎一座
(やぎさわらктらういちざ)

ちんどん屋と一緒に太鼓をたたいて公園内を練り歩こう！ 9/20(金)には町役場でも演奏しました。



NHKをはじめ、メディアにも多数掲載されました

ひろのアートキャンプ初開催

09月23日 19時50分



アニメの作画監督やアート作家を招き、子どもたちに制作活動を体験してもらいイベントが22日までの2日間、広野町で開催されました。

「ひろのアートキャンプ」はアートを通して地域活性化をめざす広野町などが初めて開き、ニッポン総合公園の会場には2日間でおよそ500人が訪れました。

人気アニメ「ドラえもん」の作画監督の本多敏行さんが企画した「らくがきコーナー」では、本多さんの恐竜の絵の周りに子どもたちが、動物やアニメキャラクターを自由に描いていました。



ふたば未来学園生徒によるワークショップ



福島県立ふたば未来学園高等学校の生徒さんの指導のもと、イベントに参加した子ども達が目を輝かせながらモザイクアートを完成させた。



当日は「ひろのスタンプ」を模した駄菓子引換券をワークショップ参加者に配布し「ひろのベース」にて駄菓子との交換をしました。

